



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成



爽やかな秋晴れの空の下 「本物の笑顔」を目指して躍動！東っ子！

心配された天気の合間をぬって、好天の秋晴れの中、10月5日(木)平戸市総合運動公園(ライフカントリー)にて、小学校陸上競技大会が開催され、5・6年生が元気いっぱい出場してきました。

9月初めから約一か月。5・6年生の子供たちは出場種目を決め、優勝や入賞、自己ベストの記録を目指して練習に取り組み、当日を迎めました。

6年生は2度目の経験ですが5年生は初体験。その分、緊張感も強かったかもしれませんね



大会当日、子供たちが臨む競技は多くて2種目。時間にすればほんのわずかなものです。「一瞬」といってもいいかもしれません。普段経験できないそんな緊張感に満ちた「一瞬」を経験することは大切なことです。また、大会当日、広く素晴らしい会場で参加を経験することや、友や他校の子供たちと力や技術を競い合うことも、素晴らしい経験です。そしてもっと大切なのは、大会に向けて、それまで練習に取り組んできた長い時間、そんな時間の取組みこそが、子供たちの成長にとってなくてはならない学びとなつたはずです。

大会に向け、目標を設定し、自分の心と向き合うこと。苦しくてもつらくても努力すること。仲間と共に協力し合ったり、励ましあったり、喜び合ったり、悔しがったりすること。「競技」というルールに基づいた競い合いの中で、自分の力を確かめたり、伸ばしたり、高めたりすること。多くの学びがあり、子供たちの新たな宝物となったことでしょう。入賞できた子供達がいます。自己ベストの記録が出た子供もいます。一方、思うような記録が出なかった子もいるかもしれません、全員が真剣・集中し、力を出し切った一日でした。

真剣で緊張した顔、引き締まった顔、ひたむきな顔。どの表情もとてもかっこよく素晴らしいものでした。東小のリーダー6年生。サブリーダー5年生。この大会に向けた活動の中で学んだことを、今後も生かしてほしいと思います。みんなよく頑張りました。保護者の皆様、応援ありがとうございました。お疲れさまでした。



私を含め、参加した職員もそれぞれに役割と仕事があり、すべての種目の写真は撮れませんでした。すみません。

自分の力を出し切ろうと頑張った子供達。さすが東小の高学年でした。一方、昨年度も思ったのですが、正直なところ、全体的に他校との体力差を感じました。テニスや剣道、空手等、個人的にスポーツに親しんでいる子も若干いますが、社会体育等に入り、日頃から日常的に運動に親しみ体を鍛える機会がある児童が少ないこともその要因の一つかもしれません。徳・知・体、3つがバランスよく育まれることが大切です。今後、さらなる体力の向上も目指していきたいと考えています。

入賞おめでとう！

【6年女子 100m】第5位 金子 琉依	【6年女子走り幅跳び】第5位 高田 百華
【6年女子走り高跳び】第6位 金崎 月愛	【5年男子 走り高跳び】第2位 関 凌来
【5年女子 200m】 第2位 濱崎 結衣	

